

令和 4 年度

大学院教育学研究科（修士課程）

# 学 生 募 集 要 項

## （第 2 次 募 集）



東 京 学 芸 大 学

令和 3 年 12 月

□令和4年度東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）試験期日等日程

出願期間	令和4年1月19日（水）～21日（金） ※9頁参照
試験期日	令和4年2月19日（土）
合格発表	令和4年3月3日（木）
入学手続き日	令和4年3月14日（月）※必着・郵送のみ

入学資格審査申請期間	令和4年1月7日（金）～11日（火） ※5頁参照
------------	-----------------------------

問い合わせ先

(注) 問い合わせ受付時間は、平日9時～12時、13時～17時です。

○「入学試験」について

学務部入試課 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
☎042-329-7203

○「カリキュラム、履修基準等」について

学務部大学院課 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
☎042-329-7704

## 目 次

□ 大学院教育学研究科（修士課程）のアドミッション・ポリシー	2
1. 募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願資格⑨により出願しようとする者の資格認定について	5
4. 標準修業年限	6
5. 出願手続	7
6. 受験に際して配慮を必要とする者の事前相談	9
7. 選抜方法等（選抜基準）	10
8. 合格者の発表	11
9. 入学手続	11
10. 諸経費	11
11. 留意事項	11
12. 入学試験成績の開示	11
13. 個人情報の取扱いについて	12
○ 入学料及び授業料免除制度	12
○ 日本学生支援機構奨学金	12
□ 出願書類（本学所定の用紙）	

## □大学院教育学研究科（修士課程）のアドミッション・ポリシー

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）は、豊かな人間性と科学的精神に立脚した教育研究活動を通じて、高度な知識と技能を修め、21世紀の知識基盤社会を担う「有為の教育者」を養成することを目的としています。

修士課程2専攻のアドミッション・ポリシーは以下のとおりです。

### 各専攻のアドミッション・ポリシー

次世代日本型 教育システム 研究開発専攻	<p>本専攻は、日本型教育システムについての研究開発の目的意識を持ち、次世代の日本型教育システムの教育研究に積極的に取り組むことのできる人材育成を目的とし、入学者選抜においては、本専攻で学ぶ上で必要とされる知識・態度・能力等を有しているかを判断するために、学力検査、面接試問、出願書類により総合的に評価を行い、以下のような人を受け入れる。</p> <p>(1) 次世代の日本型教育システムを自らの手で研究開発し、その成果を新しい教育の実践・制度に反映させることで社会に貢献しようとする意欲のある人 (2) 学士課程において学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的知識を有し、日本の文化と日本型教育システムの特長と課題に関する基礎的知識を有している人 (3) 次世代日本型教育システムについての研究成果を国内外で積極的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人</p>
----------------------------	---

教育支援協働 実践開発専攻	<p>本専攻は、「教育の高度情報化（AI サービスの活用等）」、「教育における心理支援」、「教育における連携・協働化」に対応し、学校教育の内外での教育支援協働において先導的役割を果たす人材を養成することを目的とし、入学者選抜においては、本専攻で学ぶ上で必要とされる知識・態度・能力等を有しているかを判断するために、学力検査、面接、出願書類により総合的に評価を行い、以下のような人々を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校教育と教育支援についての知識を有し、専門職業人にふさわしい能力と技能を高度化させ、社会にとって有為の教育者を志す人</li> <li>(2) 現代社会における教育の課題について十分な認識を有し、その解決に積極的に貢献し、教育支援協働の先導的役割を担うことを志す人</li> <li>(3) 教育実践と教育支援協働に関する基礎的な研究・開発能力を有し、その創造性・独創性を発揮し、この分野での先端的研究に貢献することを志す人</li> <li>(4) 教育支援協働についての教育・研究の成果を、国内外で積極的に発信するためのコミュニケーション能力・語学力を有する人</li> </ul> <p>本専攻は3つのプログラム（※）を展開するために、それぞれにおいて特に以下のような人を優先的に受け入れる。</p> <p><b>教育 AI 研究プログラム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 高度情報化に対応した教育を、自らの手で研究開発し、教育の分野で AI サービスを利活用することで社会に貢献しようとする意欲のある人</li> <li>2) 学士課程において学んだ自身の専門研究分野に関して基礎的知識を有し、技術の発展による社会の変化と教育の課題に関する基礎的な知識を有している人</li> </ol> <p><b>臨床心理学プログラム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校教育を臨床心理学の専門家としての立場から支援するため、自らの臨床心理学に関する専門性を深め、スクールカウンセラーや教育相談員等として、学校教育や教育臨床の分野で社会に貢献しようとする意欲のある人</li> <li>2) 学校教育や教育臨床における臨床心理的課題についての基礎的な知識と活動経験を有している人</li> </ol> <p><b>教育協働研究プログラム</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 学校教育を支援するため自らの教育支援協働に関する専門性を深め、教育支援協働の分野で社会に貢献しようとする意欲のある人</li> <li>2) 教育支援協働についての基礎的な知識と活動経験を持ち、その経験知を理論化することに意欲のある人</li> </ol>
------------------	---

※「プログラム」とは：

本専攻における「プログラム」とは、教育支援の方法に関する特定の専門的力量を形成するための教育内容上のまとめ（授業履修のあり方を類型化したもの）である。

教育 AI 研究プログラムは、「教育において AI サービスを活用するための力量」を、

臨床心理学プログラムは、「教育において臨床心理課題に取り組むための力量」を、

教育協働研究プログラムは、「教育において支援ネットワークを構築するための力量」を、

形成する。

## 1. 募集人員

専攻	入学定員	プログラム	募集人員
			一般選抜
次世代日本型教育システム研究開発専攻	20名		若干名
教育支援協働実践開発専攻	89名	教育AI研究	16名
		教育協働研究	

(1) 志願者は、志望するいずれか1つのプログラムに限り出願することができます。

## 2. 出願資格

次の①から⑨のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者又は令和4年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和4年3月までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格⑤の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和4年3月までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- ⑨ 本学大学院教育学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに22歳に達する者

(注) 上記出願資格⑨により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受けなければならない。

### 3. 出願資格⑨により出願しようとする者の資格認定について

本学大学院教育学研究科への入学資格審査を申請する者は、事前に入試課へ問い合わせの上、下記の書類①～⑥を一括して、令和4年1月7日（金）から令和4年1月11日（火）までに東京学芸大学入試課あてに「書留速達」にて郵送（必着）してください。

なお、この他に必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

書類等の名称	摘要
①入学資格審査申請書	本学所定の用紙（注1）に所要事項を記入すること。 (取得免許状等諸資格については、証明書を添付すること。)
②成績証明書及び卒業（見込）証明書	高等学校卒業後の学歴に関するものすべてを提出すること。（注2） (出身学校の学校長、学長又は学部長が作成したもの。日本語又は英語以外の言語で作成された証明書には、日本語訳又は英語訳を必ず添付すること。) なお、学士の学位を有する者は、学位授与証明書を併せて提出すること。
③在職証明書（該当者のみ）	本学所定の用紙（注1）に勤務先名、職名、職務内容、常勤・非常勤の別、在職期間及び1週間あたりの勤務時間数等を記入した、所属長等が作成する証明書を提出すること。（注2）
④教育研究歴・活動歴・学習歴申立書（該当者のみ）	教育研究歴、芸術・スポーツ・文化活動歴もしくは国際団体等での活動歴又は学習歴がある者は、本学所定の用紙へ記入の上、提出すること。（また、それを証明できる書類を提出のこと。）
⑤教育研究業績等一覧	本学所定の用紙（注1）に教育研究業績、活動実績又は学習内容を記入の上、教育実践記録、口頭発表、研究論文、競技記録、発表記録、表彰等がある者は、その写しなど証明できるものを添付して提出すること。（業績等のない者もその旨を明記し、提出すること。）
⑥返信用封筒	郵便番号・住所・氏名を明記し、344円分の切手を貼付した長3形封筒

- （注）1. 入学資格の審査結果は、申請者に対し、文書により1月末（予定）に発送します。  
2. 審査の結果、入学資格を認められた者は、本募集要項の「5. 出願手続」により出願することができます。  
3. 提出された書類等は返還しません。  
4. 外国の大学等を卒業した方は、学士の学位を有していても、入学資格を満たしていない場合がありますので、事前に入試課へ問い合わせてください。

（注1）本学所定の用紙は、本学ウェブサイト上の用紙をプリントアウトして申請してください。

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/post-5.html>》



（注2）証明書類は原本を提出してください。なお、中国の大学を卒業した者については、全国高等学校学生信息諮詢与就業指導中心（CHSI）又は教育部学位与研究生教育發展中心（CDGDC）が発行する証明書でも可とします。

問い合わせ先 東京学芸大学入試課  
電話 042-329-7203 （平日 9時～12時、13時～17時）

#### 4. 標準修業年限

2年

本学修士課程における一部の授業科目は、6・7時限や土・日曜日に開設される場合がありますが、1～5時限に開設される授業科目も多くあります。

また、必修科目の一部に学外での活動を含んでいるため、夜間や休日のみの履修によって本学修士課程を修了することは困難です。日中の活動・仕事に従事しながら本学修士課程で修学することを希望する場合は、履修計画について事前に十分に検討してください。

#### 「長期履修学生」制度について

学生が「職業を有している」等の事情により、教育学研究科の標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（3年又は4年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する旨を申し出たときは、その計画的な履修を認めることができる制度（「長期履修学生」制度）があります。

この制度により長期履修学生が修了するまで、1年間に納める授業料の額は、標準修業年限（2年分）の授業料を、計画的に履修することを認められた一定の期間の年数（3年又は4年）で除した額となります。

なお、この制度は、在学途中で長期履修を申請することができますが、その場合の授業料は標準修業年限分の授業料より高くなりますのでご注意ください。

申請方法等の詳細については、合格した方にあらためてお知らせします。

## 5. 出願手続

### (1) 出願書類等

◎：全員要提出 ▲：摘要欄に該当する者のみ要提出

	書類等の名称	提出 該当者 一般	摘要 要
①	出願書類提出明細票	◎	本学所定の用紙
②	入学願書	◎	本学所定の用紙
③	受験票・写真票	◎	本学所定の用紙
④	入学検定料（30,000円） 入学検定料納入確認票 (上記金額を改定することがあります)	◎	入学検定料を以下1, 2いずれかにより払い込みの上、受領した用紙を入学検定料納入確認票（本学所定の用紙）の所定の欄に貼付すること 1. 銀行等窓口：「入学検定料納入済票（大学提出用）」 2. コンビニエンスストア：「収納証明書」 ※詳細は、「(2) 入学検定料について」を参照
⑤	卒業（見込）証明書	◎	・出身大学の学長又は学部長が発行したもの（注1, 注4, 注6） ・複数の大学に在籍した場合は全て ※卒業証書は不可
⑥	成績証明書	◎	・出身大学の学長又は学部長が発行したもの（注1, 注3, 注4, 注6） ・複数の大学に在籍した場合は全て
⑦	面接調査書	◎	本学所定の用紙
⑧	ポートフォリオ	▲	・教育協働研究プログラム志願者 (「入学後の主たる研究領域がアート又はデザインの者」)
⑨	在職（期間）証明書	▲	・本学所定の用紙 ・学校, 官公署, その他民間会社等に在職中の者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者は, 所属長発行のものを提出（注5）
⑩	戸籍抄本等	▲	・各証明書等と現在の姓が異なる者のみ提出 ・改姓の事実が確認できる証明書等を提出すること
⑪	住民票	▲	・外国籍の者は提出すること ・市区町村長の発行する証明書（国籍, 在留資格, 在留期間明記のもの）
⑫	国費外国人留学生証明書	▲	・日本政府国費留学生は提出すること ・在籍している大学が発行したもの（在籍身分, 留学期間明記のもの）
⑬	名票	◎	本学所定の用紙
⑭	受験票送付用封筒	◎	・長形3号の封筒 ・郵便番号・住所・氏名を明記すること。 ・354円分の切手を貼付すること
⑮	オンライン面接連絡確認票	◎	

(注1) 証明書類は原本を提出してください。ただし、出願時点において新型コロナウイルス感染拡大等のため、所属する（していた）学校又は職場等が閉鎖している等、やむを得ない理由により証明書類の原本の提出が困難な場合に限り、「証明書類を申請済であり、かつ発行できること」を客観的に証明する資料（大学の公式ウェブサイト等の該当ページを印刷したもの、メールのやりとり等）を同封することで出願書類を受理します。

(注2) 出願資格（1）の②により出願する者は、学位授与証明書又は学位授与申請受理証明書を提出してください。

(注3) 成績証明書について、4年間の大学教育を2つ以上の学校にまたがって終えた場合は、在籍した全ての学校について提出してください。

(注4) 中国の大学を卒業した者については、全国高等学校学生信息諮詢与就業指導中心（CHSI）又は教育部学位与研究生教育發展中心（CDGDC）が発行する証明書でも可とします。

- (注5) 国公立学校教員で、校長が人事記録等により履歴を確認できる範囲において、在職期間を集約して証明することは差支えありません。
- (注6) 日本語又は英語以外の言語で作成された証明書には、日本語訳又は英語訳を必ず添付してください。
- (注7) その他必要に応じて証明書等の提出を求める場合があります。

## (2) 入学検定料について

- ① 次のいずれかの方法で入学検定料を納入してください。

(ア) 銀行等（ゆうちょ銀行は不可）窓口で支払う場合

- ・ 本学所定の入学検定料振込用紙（入学検定料振込依頼書）により、入学検定料30,000円を指定の口座に振り込んでください。なお、振込手数料は自己負担となります。
- ・ 必ず銀行等（ゆうちょ銀行は不可）の窓口で振り込み、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ・ 振り込み後、「入学検定料納入済票（大学提出用）」（銀行等の収納印の無いものは無効とする）を必ず入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付してください。

(イ) コンビニエンスストアで支払う場合

- ・ セブン-イレブン、ローソン、ミニストップで入学検定料30,000円を支払うことができます。店内にある情報端末機を操作の上、必ずレジにてお支払いください。なお、振込手数料は自己負担となります。
- ・ コンビニエンスストアの店内にあるATM（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ・ 振り込み後、コンビニエンスストアのレジから受け取る「収納証明書」を必ず入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付してください。
- ・ 情報端末機の操作手順は、入学検定料納入確認票裏面の「入学検定料支払方法のご案内」を参照してください。

- ② 一旦納入した入学検定料は、次の場合を除き返還しません。

(ア) 出願書類が受理されなかった場合

(イ) 入学検定料を振り込んだが出願書類を提出しなかった場合

(ウ) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

- ③ 国費外国人留学生として出願する者が不合格となった場合の入学検定料は、自己負担となります。

### ※ 入学検定料の返還について

① 上記(ア)に該当する場合

出願書類を返送する際に、入学検定料の返還請求手続き方法について同封するので、それにより返還請求手続きをしてください。

② 上記(イ)又は(ウ)に該当する場合

速やかに本学経理課（TEL：042-329-7143）に連絡し、入学検定料の返還請求手続きをしてください。なお、連絡が無い場合や返還請求手続きが無い場合は、返還できないので注意してください。

### ※ 入学検定料の免除について

震災及び台風等（激甚災害指定）で被災した志願者に対して、入学検定料の免除措置を行います。詳しくはウェブサイト（<https://www.u-gakugei.ac.jp/02nyushi/menjo.html>）をご覧ください。



### (3) 出願方法

出願は、郵送に限ります。志願者は、出願書類等を一括して、本学所定の願書提出用封筒に入れて「書留速達」で送ってください。なお、封筒の表にはこちら《<https://tinyurl.com/y6qptnkn>》をプリンタ一からA4用紙で出力したものを貼付して郵送してください。



- (注)
1. 出願書類等に不備があり、連絡が取れない場合は出願書類を受理しません。
  2. 出願書類受理後は、記載事項の変更を認めません。また、受理した出願書類等は返還しません。
  3. 出願手続きに不正があった場合は、入学許可の後でもこれを取り消します。
  4. 海外からの出願の場合でも入学検定料の振り込みについては日本国内で手続きを行うこととし、受験票の送付先及び名票に記載する住所も日本国内の場所としてください。

### (4) 出願期間（入学願書受付期間）

令和4年1月19日（水）～令和4年1月21日（金）

（1月21日以前の発信局消印のある書留速達に限り受理します。ただし、海外から直接郵送する場合は、1月21日必着とします。）

### (5) 受験票等の発送

「受験票」及び「受験者心得」は2月4日（金）までに発送します。2月9日（水）までに届かない場合は、入試課（連絡先は表紙裏面）まで問い合わせてください。

## 6. 受験に際して配慮を必要とする者の事前相談

(1) 障がいがある等の理由で、受験上及び修学上配慮を必要とする者もしくは不安を感じる者は、出願に先立ち相談締切日までに事前相談申し出書（診断書等関係書類添付）を提出し、あらかじめ本学と相談のうえ出願してください。（なお、内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、可能な限り早期に申し出てください。）

(2) 障がい等のある志願者が、選抜の際に不利に扱われることはありません。

(3) 事前相談申し出書には次の内容を記載してください。（様式は問いません。）

- ①志望する専攻・プログラム名
- ②障がい等の種類・程度
- ③受験上及び修学上配慮を必要とする事項
- ④大学等でとられていた特別措置
- ⑤日常生活の状況
- ⑥その他参考となる事項

(4) 相談締切日 令和4年1月11日（火）

(5) 問い合わせ先 東京学芸大学入試課

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1  
電話 042-329-7203（平日9時～12時、13時～17時）

## 7. 選抜方法等（選抜基準）

### （1）選抜方法

第2次募集においては、「面接試問」、「出願書類」により総合して行います。なお、「面接試問」は専攻に関わる専門的知識および語学力に関わる試問を含みます。

### （2）合否判定基準

合否判定は、（1）で実施された結果を基に総合的に判定する。

ただし、受験科目の成績が1科目（科目によっては、構成する種類の1科目）でも本研究科の定めた得点基準に達していない場合は、総合点の如何にかかわらず不合格とする。

### （3）配点

面接試問・出願書類 100 点

### （4）面接試問の日程及び内容等

試験期日	試験時間	試験科目
令和4年 2月19日（土）	10:00～	面接試問 (オンライン)

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、受験機会を確保するため、双向のビデオ通話が可能なウェブ会議システム（zoom を予定）を利用し、オンラインで実施します。実施方法等詳細は、本学ウェブサイトに掲載するとともに、受験票に同封します。

※ 各自の試験室等にあたるウェブ会議システムのURL等は、試験前日にE-Mailにてお知らせします。

### ○面接試問において使用するZoomの機能等

専攻等		使用するZoomの機能				その他
		プライベート	画面共有	ボード	ホワイト	
次世代日本型教育システム 研究開発		○	○	○	○	和英・英和辞書（ただし紙の辞書に限る。電子辞書等は認められない）
教育支援協働 実践開発	教育AI研究	○	○	○	—	
	教育協働研究	○	○	—	—	

※志望する専攻・プログラムにおいて使用する予定のZoomの機能については、指示があった際に受験者自身

身が操作できるようあらかじめ確認してください。

※使用予定の機能であっても、試験当日使用しない場合もあります。

## 8. 合格者の発表

令和4年3月3日（木） 午前10時

本学ウェブサイト上で合格者受験番号一覧を7日間掲載するとともに、合格者には合格通知書等を郵便で発表当日に発送します。

なお、電話等による問い合わせには一切応じません。



教育学研究科入試情報 《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/shushi/index.html>》

## 9. 入学手続

所定の諸経費を納入し、「書留郵便」により必要書類を提出してください。

期限：令和4年3月14日（月）必着（宛先は表紙裏面参照）

上記期限までに入学手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

## 10. 諸経費

- (1) 入学料 282,000円
- (2) 授業料 267,900円（春学期分）  
535,800円（年額）

(注) ①入学料及び授業料は、改定することがあります。

②春学期分の授業料について、上記入学手続期間に納入しない場合は、令和4年4月1日から4月30日までの間に納入してください。

③授業料の納入については、希望により春学期分の納入の際に秋学期分も合わせて納入することができます。

④在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

⑤一旦納入した入学料は返還しません。

⑥授業料については、入学手続きを行った者が、令和4年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により、当該授業料相当額を返還します。

## 11. 留意事項

この募集要項に記載されていることについて変更が生じたときは、本学ウェブサイト等により通知等を行うことがあるので留意してください。

## 12. 入学試験成績の開示

令和4年度入学者選抜試験の不合格者に対して、本人の請求に基づき各受験科目の得点を開示します。

①請求期間・方法 令和4年3月1日（火）～3月30日（水）郵送（令和4年3月30日（水）の消印有効）

②必要書類

ア. 開示請求書（本学所定の用紙）

イ. 受験票（本人確認のため）

本学所定の様式（ウェブサイト上の本学所定の様式をプリントアウトして使用）

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/nyushi/-2.html>》



掲載開始：令和4年2月中旬

※本学のウェブサイトから入手が困難な場合は、本学入試課で直接又は郵送により配付します。郵送を希望する場合は、宛名を明記し84円分の切手を貼った返信用封筒（定形封筒）に同封して申し込んでください。その際、大学あての封筒の表に「教育学研究科入学試験成績開示請求書用紙請求」と朱書きしてください。

## 17. 個人情報の取扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人東京学芸大学の保有する個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

本学に提出する出願書類等に記載された個人情報は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。また、同個人情報は入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（奨学金申請等）及び授業料等に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。

### ○ 入学料及び授業料免除制度

経済的理由により入学料又は授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者には、申請により選考のうえ、納付すべき入学料又は授業料が免除される制度があります。

手続き等の詳細は、本学のウェブサイト（下記URL）又は入学手続案内に同封する「入学料及び授業料免除等について」をご覧ください。

東京学芸大学ウェブサイト

学生生活について>入学料・授業料の免除・徴収猶予制度

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/05gakusei/>》



※ウェブサイトから申請用紙等の入手が困難な場合は、以下連絡先にお問い合わせください。

連絡先 東京学芸大学 学務部 学生課 学生生活係（電話：042-329-7186）

### ○ 日本学生支援機構奨学金

（詳細）日本学生支援機構ウェブサイト

《<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/index.html>》



本学における『予約採用』制度の申し込みは既に終了しております。奨学金貸与を希望する場合は入学直後の4月に申請する『在学採用』制度をご利用ください。在学採用の申込方法等詳細は令和4年3月下旬に以下の大学ウェブサイトにてご案内します。

<参考>

	申請時期	初回振込時期
予約採用	申込：終了しました。 結果通知：令和4年1月下旬	令和4年4月下旬又は5月下旬 ※進学届提出時期によって分かれます。
在学採用	申込：令和4年4月 結果通知：令和4年6月	令和4年6月中旬

東京学芸大学ウェブサイト

学生生活について>奨学金制度

《<https://www.u-gakugei.ac.jp/scholarship/>》



# 出願書類等提出明細票

受験番号	※
------	---

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）（第2次募集）

志望する 専攻・プログラム	専 攻 プログラム	氏 名	
		本人連絡先 (電話番号)	

出願する書類等は、必ず確認のうえ提出欄に○印又は必要事項を記入し、本票を上にして提出すること。  
なお、提出書類に不備がある場合には、受理しないことがあるので十分注意すること。（詳細は7頁参照）

書類等の名称	提出欄	提出該当者	摘要	
			一般	
① 出願書類提出明細票		◎		
② 入学願書		◎		
③ 受験票・写真票		◎		
④ 入学検定料（30,000円） 入学検定料納入確認票 上記金額を改定することがあります		◎	入学検定料を振り込み後、「入学検定料納入済票（大学提出用）」または「収納証明書」を入学検定料納入確認票の所定の欄に貼付すること	
⑤ 卒業（見込）証明書		◎		
⑥ 成績証明書		◎		
⑦ 面接調査書		◎		
⑧ 心理支援に関する活動報告書		▲	臨床心理学プログラム志願者	
⑨ ポートフォリオ		▲	・教育協働研究プログラム志願者（「入学後の主たる研究領域がアート又はデザインの者」）	
⑩ 在職（期間）証明書		▲		
⑪ 戸籍抄本等		▲	・各証明書等と現在の姓が異なる者のみ提出 ・改姓の事実が確認できる証明書を提出すること	
⑫ 住民票		▲	・外国籍の者は提出すること ・市区町村長の発行する証明書（国籍，在留資格，在留期間明記のもの）	
⑬ 国費外国人留学生証明書		▲	日本政府国費留学生は提出すること	
⑭ 名票		◎		
⑮ 受験票送付用封筒		◎	・長形3号の封筒 ・郵便番号・住所・氏名を明記すること。 ・354円分の切手を貼付すること	
⑯ オンライン面接連絡確認票		◎		

受付 1	※ 月 日 担当：	受付 2	※ 月 日 担当：
------	--------------	------	--------------

※印欄は記入しないこと。



令和4年度  
東京学芸大学大学院教育学研究科(修士課程)入学願書  
(第2次募集)

受験番号	②
※	

志望する 専攻・プログラム	専攻	プログラム	
選抜区分	一般選抜		
フリガナ ローマ字氏名 氏名 (姓) (名) (旧姓 ) 生年月日(西暦)・ 年齢・性別 年 月 日生 (満 歳) 男 ・ 女	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <b>写 真</b>          (4×3寸)       </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         ①上半身脱帽正面向きで3か月以内に撮影したものを使用すること。          ②受験票、写真票と同じものであること。       </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">         2022.4.1現在       </div>		
出願資格 (出身大学等) (4頁で自分の出願資格が①～⑨のいずれにあたるかを確認の上、該当する欄にのみ記入すること)	<b>出願資格</b> ① ③ ④ ⑤	国立 公立 私立 大学 学部 年 月 卒業・卒業見込 (東京学芸大学卒業(見込)者のみ記入 類 選修・専攻)	
	<b>出願資格</b> ②	*大学卒業(見込)者は記入しないこと 学位授与年月日 : 年 月 日	
	<b>出願資格</b> ⑥ ⑦ ⑧	最終学歴 : 年 月 卒業	
	<b>出願資格</b> ⑨	本学入学資格認定年月日 : 年 月 日	
現在(出願時) の身分等 (2022.3卒業見込 の者は記入不要)	教員・教育職員・研究職員・会社員・無職・その他 ( )		
	勤務先名 電話 ( — — )		
	職種 ( ) 常勤 ・ 非常勤 (週 時間)		
	*現在在職中で在職証明書を提出しない者のみ記入 退職予定期日 年 月 (合格の場合の予定でも可)		
現住所 合格通知書等 受信場所	(〒 — — )		
連絡先電話番号	携帯電話 — —	固定電話 — —	(現住所以外(実家等)も可)
取得教員 免許状 (見込を含む)	種類 (教科) 取得年月(見込)		
	学校 種(級)免許状( ) 年 月		
	学校 種(級)免許状( ) 年 月		
	学校 種(級)免許状( ) 年 月		
	学校 種(級)免許状( ) 年 月		

1. ※印欄は、記入しないこと。
2. 該当する事項を○で囲むこと。
3. 受験票、写真票、名票の記入事項とくい違いのないようにすること。
4. 次葉の記入上の注意をよく読むこと。

氏名 \_\_\_\_\_

学 歴	出身校（学部、学科・課程、研究科等）	在学期間				
		年	月	～	年	月
						卒業 卒見 退学
						卒業 卒見 退学
						卒業 卒見 退学
						卒業 卒見 退学
						卒業 卒見 退学
職 歴	勤務先・職種（常勤・非常勤の別）	在職期間				
	( )	年	月	～	年	月
	( )	年	月	～	年	月
	( )	年	月	～	年	月
	( )	年	月	～	年	月
	( )	年	月	～	年	月
	( )	年	月	～	年	月
教育支援活動	活動組織・団体名	活動期間				
		年	月	～	年	月
		年	月	～	年	月
		年	月	～	年	月
		年	月	～	年	月
〔記入上の注意〕						
1. 「学歴」欄について 大学入学等から記入すること。高等学校卒業等以前は原則記入不要。ただし、外国において学校教育における16年の課程を修了した者は初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において、在籍したすべての学校を記入すること。また、大学等での研究生等としての在籍がある場合には、その期間も記入すること。						
2. 「職歴」欄について 勤務先・職種は、具体的に記入すること。例えば、○○市立○○○小学校教諭など。 また、( )には常勤・非常勤の別を記入すること。						

令和4年度  
東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）  
(第2次募集)

③

受 験 票

受 験 番 号
※

フ リ ガ ナ			
氏 名			
生年月日(西暦)・ 年齢・性別	年	月	日 2022.4.1現在 (満 歳) 男・女
志望する 専攻・プログラム	専攻	プログラム	
選抜区分	一般選抜		

写 真  
(4×3 センチ)  
①上半身脱帽正面  
向きで3か月以  
内に撮影したも  
のを使用するこ  
と。  
②入学願書、写真票  
と同じものであ  
ること。

- 受験上の注意 1. 受験者は、各試験開始15分前までに各自の面接室の待機室（オンライン）に入室すること。  
2. 受験票は、机上に置き、試験監督者から指示があった場合にすぐ提示できるようにすること。  
この受験票は、入学手続の際に使用するのでその時まで保管しておくこと。

-----切り取らないこと-----

③

写 真 票

受 験 番 号
※

フ リ ガ ナ			
氏 名			
生年月日・ 年齢・性別	年	月	日 2022.4.1現在 (満 歳) 男・女
志望する 専攻・プログラム	専攻	プログラム	
選抜区分	一般選抜		

写 真  
(4×3 センチ)  
①上半身脱帽正面  
向きで3か月以  
内に撮影したも  
のを使用するこ  
と。  
②入学願書、受験票  
と同じものであ  
ること。



令和4年度 東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）

# 入学検定料納入確認票

受験番号	※
------	---

※印欄は記入しないこと。

フリガナ 氏名	志望する 専攻・プログラム	専攻 プログラム
------------	------------------	-------------

入学検定料納入済票（銀行等で振込した場合）又は収納証明書（コンビニで収納した場合）を  
枠内に貼付すること。

# 入学検定料支払方法のご案内

下記のコンビニ端末にてお支払ください

1  
お申込み

## セブン-イレブン マルチコピー機

<http://www.sej.co.jp>

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。



TOP画面の「学び・教育」よりお申込みください。



学び・教育



入学検定料等支払

## LAWSON Loppi

## MINISTOP Loppi

<http://www.lawson.co.jp> <http://www.ministop.co.jp>

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。



TOP画面の「各種サービスメニュー」よりお申込みください。



「各種申込(学び)」を含むボタン



学び・教育・各種検定試験



大学・短大・専門、  
小・中・高校等お支払い

東京学芸大学大学院

をタッチし、申込情報を入力して「払込票／申込券」を発券ください。

\*画面ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。



2  
お支払い

①コンビニのレジでお支払ください。

端末より「払込票」(マルチコピー機)または「申込券」(Loppi)が出力されますので、  
30分以内にレジにてお支払ください。



チケット形式

取扱明細書兼領収書

レシート

②お支払い後、チケットとレシートの2種類をお受け取りください。

「取扱明細書」(マルチコピー機)または「取扱明細書兼領収書」(Loppi)。

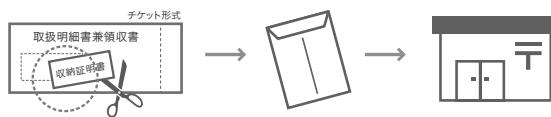
\*お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。  
\*お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。  
\*すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。



3  
出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の  
「収納証明書」部分を切り取り、  
入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は  
使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。



## 入学検定料振込用紙（入学検定料振込依頼書）

- ① □の各欄に志願者本人の氏名等を記入してください。それ以外の欄は記入しないでください。
- ② 必ず銀行等（ゆうちょ銀行は不可）の窓口で振り込みの手続きをしてください。  
A T M（現金自動預払機）は利用しないでください。
- ③ 「納入済票」及び「振込金（兼手数料）受取書」を銀行等の受付窓口から受け取る際には必ず収納印が押されていることを確認してください。
- ④ 「納入済票」は入学検定料納入確認票の所定欄に貼り付けて出願してください。  
必ず銀行等の収納印の押された納入済票を貼り付けてください。

※振り込みの際は、この部分を切り離してから銀行等に提出してください。

年 月 日	
金額	
百万	¥ 3 0 0 0 0
先方銀行	株式会社 三菱 UFJ 銀行 本店
受取人	普通預金 7914380 国立大学法人東京学芸大学
ご志願者	お名前 ご住所
(備考)	手数料 円
* お名前は必ず志願者本人の氏名を記入してください。	
取扱銀行等収納印	
(取扱店→依頼人)	

年 月 日	
金額	
百万	¥ 3 0 0 0 0
志願者氏名	
取扱銀行等収納印	
* 取扱店収納印の無いものは無効です。	
入学検定料納入確認票の所定欄に貼付してください。	
(取扱店→依頼人)	

年 月 日		電 信	手数料
振込日	金額	百万	¥ 3 0 0 0 0
先方銀行	株式会社 三菱 UFJ 銀行 本店	現 金	
受取人	普通預金 7914380 国立大学法人東京学芸大学 東京都小金井市貫井北町 4-1-1	内 当 手 枚	
		他 手 枚	
		詫	
ご依頼人(志願者)	(フリガナ) お 名 前	取扱銀行等収納印	
ご 住 所	T E L		
* お名前は必ず志願者本人の氏名を記入してください。			
(取扱店保管)			



## 面接調査書

受験番号	*
------	---

※印欄は記入しないこと

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）（第2次募集）

フリガナ		志望する 専攻・ プログラム	専攻 プログラム	
氏名			国立 公立 私立	大学 学部
生年月日	年      月      日生	出身大学		
年齢	2022.4.1 現在 (満      歳)	卒業年月		卒業見込
修士課程を構成する 専攻・プログラム	入学後に予定している主たる研究領域 ※志願する専攻・プログラムの研究領域のうち必ず1つのみにチェックを入れること。 ※『東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）案内』「専攻・プログラムの教育研究の概要」を参照のこと。			
次世代日本型教育 システム研究開発専攻	<input type="checkbox"/> 地域研究 <input type="checkbox"/> 比較教育・教育史 <input type="checkbox"/> 日本語教育 <input type="checkbox"/> 次世代教育			
教育支援 協働実践 開発専攻	教育A I 研究 プログラム	<input type="checkbox"/> 情報A I <input type="checkbox"/> コンピテンシー・学校心理 <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（文化） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（身体） <input type="checkbox"/> 教科内容・実践（環境）		
	臨床心理学 プログラム	<input type="checkbox"/> 臨床心理学		
	教育協働研究 プログラム	<input type="checkbox"/> 生涯学習 <input type="checkbox"/> 文化遺産教育 <input type="checkbox"/> ソーシャルワーク <input type="checkbox"/> 生涯スポーツ <input type="checkbox"/> 多文化共生教育 <input type="checkbox"/> 表現教育 <input type="checkbox"/> アート <input type="checkbox"/> デザイン <input type="checkbox"/> 教育行政		
希望する指導教員（希望がある場合は記入すること）				
(主)		(副)		
入学志願 理由				

## 【記入上の注意】

1. 全て自署により記入することを原則とする。
2. 「希望する指導教員」欄について
  - ・指導教員の希望は、主・副とも、希望がある場合に記入してください。なおこの記入にあたって、当該教員の事前の了解は必要ありません。
  - ・入学後の指導教員は、ここに記載された希望どおりとならないことがあります。また、この指導教員の希望や入学後の研究領域の記載は、合否には影響しません。

主指導教員とは：志望する専攻（選択するプログラム）の担当教員1名が主指導教員として、入学後の指導を担当します。

副指導教員とは：主指導教員が必要と認めた場合、入学後に所属する専攻（選択するプログラム）にかかわらず、他専攻（教職大学院を含む）担当教員1名に指導を依頼することができます。

大学在学中 及びその後に 行った研究	(文書による説明では不足する研究成果等がある場合は、ポートフォリオにまとめて提出することも可)
研究テーマ	研究内容
入学後研究 したい事項	

# 在職(期間)証明書

受験番号

※

東京学芸大学大学院教育学研究科（修士課程）（第2次募集）

フリガナ 氏名		志望する 専攻・プログラム	専攻 プログラム
生年月日	年　月　日生		
勤務先名		職　名	
職務内容  (できる限り詳しく記入すること。)			
勤務形態	常勤 非常勤 (週　時間)	在職期間	年　月　日～　年　月　日
休職又は 任期付き 期間	(該当がない場合は余白に「なし」と記入) 年　月　日～　年　月　日	経験年月数	※ 年　月

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和　年　月　日

住　所

所属機関名

所属長氏名

公印

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。

2. 太枠内を志願者が記入し、他について所属長が記載する。なお、所属機関が複数にわたる場合は、本紙を必要枚数コピーし、所属機関ごとに作成すること。



# 名 票

志望する専攻・ プログラム	専攻	プログラム
------------------	----	-------

2022.4.1 現在

志望する専攻・プログラム	フリガナ 氏 名	外国語 科目	専門科目				年 齢	※ 備 考	※ 受験番号
専 攻 プログラム									

&lt;記入例&gt;（枠内に収まるように記入すること）

2022.4.1 現在

次世代日本型教育システム研究開発 専 攻 プログラム	ガクゲイ タロウ 学 芸 太 郎						22		
-------------------------------	---------------------	--	--	--	--	--	----	--	--

住所

---

氏名 殿

※

住所

---

氏名 殿

※

- 入学願書の記入上の注意に基づいて記入すること。（入学願書、受験票、写真票とくい違いのないよう記入すること）
- 合格通知を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入すること。（出願後住所変更した場合は、すみやかに届けること）
- ※印欄は記入しないこと。

※



# オンライン面接連絡確認票

受験番号	※
------	---

(枠内全て記入すること) 東京学芸大学大学院教育学研究科(修士課程)(第2次募集)

志望する 専攻・プログラム	専攻 プログラム	
フリガナ		
氏名		
連絡先	携帯電話(※1)	
	固定電話	
Zoom利用の可否 (※2)(※3)	(どちらかに○) 可 · 否	
「否」と回答した 方のみ	理由	
	利用可能なウェ ブ会議システム	Cisco Webex · Microsoft Teams

※1 所持する携帯電話が通話機能のないスマートフォン(データSIM)の場合は、LINE等通話及び検索が可能なアカウントを記入すること。

※2 利用可能な端末は、パソコンに限る。

※3 アカウントの未取得、Zoomの未経験などの理由による他システムの利用は認めない。在住国の事情等やむを得ない場合に限り「否」と回答すること。

## 【準備について】

- Zoomのアカウント取得後、クライアントアプリをダウンロードすること。  
<アプリインストール方法(PC版)>  
<https://tinyurl.com/yxbnb7jy>
- 事前にルームへの入室操作及びチャット機能については練習しておくこと。

## 【事前接続テストについて】

オンライン面接の実施にあたり、事前接続テストを実施予定。

- ①Zoomのテストミーティングに自身で参加し、接続環境を整えること。
- ②本学が実施する事前接続テストに参加すること。詳細は受験票等発送時に同封予定。



速達

1848501

書留  
(所要額)  
の切手

書留速達

東京学芸大学 入試課 御中

東京都小金井市貫井北町四丁目一番一号

※以下に記載のうえ、角2封筒に貼付し書留速達にて郵送すること

志望する 専攻・プログラム	専攻	プログラム
------------------	----	-------

選抜区分	一般選抜
------	------

差 出 人	住 所	
	志願者名 氏	

(願書提出用封筒)

受付 1	※ 月 日 担当：	受付 2	※ 月 日 担当：
------	--------------	------	--------------